

令和6年度第1回名取市男女共同参画推進委員会 会議録

1 日 時 令和6年6月21日(金)13:30~15:00

2 場 所 市役所6階 第3会議室

3 出席者

(委 員) 寒河江和樹委員長、久米智美副委員長、相原直之委員、岩沼裕子委員、
佐藤莉委員小野寿昭委員、菊地成裕委員、星真奈美委員、村上寛子委員

(欠席委員) 入間川徹委員

(事務局) 浅野次長兼課長 佐藤課長補佐兼係長 清野主査

4 会議内容 別紙のとおり。次第に沿って、要点記録により作成する。

第1回名取市男女共同参画推進委員会

委嘱状交付 開会前に新委員全員へ個別に委嘱状を交付した。

1 開 会 司会進行：佐藤課長補佐兼係長

2 あいさつ 浅野企画部次長兼市民協働課長

3 自己紹介

・各委員からの自己紹介後、事務局職員の紹介を行った。

4 委員長・副委員長の選出

・名取市男女共同参画推進委員会設置要綱第4条第2項で「委員長及び副委員長は委員の互選による」と規定されている旨の説明を事務局から行い、委員長と副委員長選出までの仮議長を浅野企画部次長兼市民協働課長が務めた。

・選出にあたり、委員から事務局案提出の要望があったため、前回の委員長と副委員長は1号委員が務めていた経緯を説明し、事務局から1号委員の寒河江委員を委員長に、久米委員を副委員長とする案を提出。出席委員から賛同を得て、事務局案のとおり決定。

・委員長と副委員長が決定したため、以降の会議進行は寒河江委員長が進行。

5 委員長・副委員長あいさつ

委員長：

前期から引き続き、委員長に選出されました。今後よろしくお願いいたします。

前期から引き続きの委員も数名いらっしゃいますが、前期同様、委員の皆さまからたくさんの意見をいただきながら、本委員会の活動を通し、名取市の男女共同参画推進に努めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副委員長：

はじめてこの委員会に参加しますが、副委員長となりました。委員として、名取市に住ぶ市民として、時代の流れとともに移り変わる部分も多い男女共同参画の分野に関わっていききたい。どうぞよろしくお願いいたします。

・以降、委員長の進行により議事進行。

6 会議の公開、会議録の作成について

- ・事務局より、会議の公開・非公開に係る規定の説明と会議録作成の際の留意点について説明を行う。
- ・審議会等の会議の公開に関する条例により、名取市男女共同参画推進委員会は公開対象の会議であり、本委員会の会議と会議録の公開をすることについて委員へ確認を行ったところ、公開することで問題ないと出席委員の了承を得た。
- ・会議録の作成について、発言した委員を「委員」として記載を統一し、発言内容の要旨のみを記載して作成するという事で、出席委員の了承を得た。

7 説 明

(1) 名取市男女共同参画推進委員会について

- ・事務局より、資料Ⅰに沿って、男女共同参画推進委員会の位置づけや市の男女共同参画推進体制（名取市男女共同参画施策推進会議、専門部会）に係る説明を行う。
- ・委員からの質疑と事務局からの回答は下記のとおり。

委 員：資料Ⅰについて、推進体制の図の中で当委員会と庁内の組織の双方向の矢印があるが、これはどのように関わっているのか。また、市の財務会計の枠の中で、男女共同参画推進に係る予算はどこに当たるのか。財源がどれくらいで、昨年度の支出等がわかると、「今年度はこちらに力を入れてはどうか」「この分野に取り組んではどうか」という意見が出しやすい。現時点で回答できる範囲で、教えていただきたい。

事務局：資料Ⅰの双方向の矢印に関する例として、庁内の男女共同参画施策推進会議が挙げられる。男女共同参画に関する施策は庁内各部署に数多くあるが、きちんと取り組みが進んでいるか、年度ごとに報告を行い、進捗管理を行っている。この推進委員会においても庁内の取り組みに関するフィードバックを行い、取組が足りない部分について、委員からいただいた意見を担当部署に伝えて取り組みを促進する、といったことを行っている。それを図に示したものがこの双方向の矢印部分にあたる。また、予算については、年に1度まとめている市政の成果という冊子がある。次回の委員会で、資料としてお示しすることが可能である。

8 議 題

報告事項

(1) 令和5年度名取市男女共同参画推進委員会の活動について

- ・事務局から資料2に沿って、令和5年度の名取市男女共同参画推進委員会活動の説明を行った。委員からの質疑等なし。

協議事項

(1) 令和6年度名取市男女共同参画推進委員会事業(案)について

・事務局より、資料3に沿って、下記①～③について説明を行った。各事項における委員からの質疑と事務局からの回答は下記のとおり。

①男女共同参画推進委員会の開催日程案

委員長： 第2回委員会について、情報紙の校正だけなら書面開催も考えられるのではないかと。実際に会場に集合しての会議となるのか。

事務局： 委員同士の意見交換を含めて記事の校正を行うため、現時点では会場に集合しての会議を予定している。書面のみでの校正が可能となりそうであれば、その際に委員長へ改めて相談させていただきたい。

委員長：このほか、質問等はあるか。なければ決定とする。

(委員からの異議等なし)

②令和6年度情報紙『Hand in Hand21+ 第22号』について

委員長：前期までの流れだと、委員会でテーマを選定し、事務局が記事案を作成のうえ、委員会で校正を行った。今期からの委員の意見もお聞きたい。

委員：前回と異なるテーマが良いのか。昨年度の子ども向け啓発記事のテーマや内容が良かったので、さらに深めた内容で、継続して子ども向けの記事とするのも良いと考える。

事務局：委員の考えにより、継続しての啓発が必要なテーマであれば、同様に構わない。

委員：前回の男女共同参画情報紙の内容については、青少年健全育成会でも話題になった。子どもの数が減少している現在、公民館の地域運動会や新年会等でも子どもたちを交えて開催する案が出てきている。子どもに焦点を当てていくことは大切だと思う。

また、前回の情報紙の中では親子で考えるワークシートが掲載されていた。子どもを取り巻く親や保護者に対して、子どもと一緒に考えたり、気づきを与えたりするきっかけとして、前回の記事内容は良かったと思う。

コロナ禍があけて、海外でのホームステイを希望するような意欲のある子どもがたくさん出てきている。市内に優秀な子どもがたくさんいる中で、自分を取り巻く環境とその他の差異を感じ、立ち止まって考える内容の記事はとても良いと考える。

委員：私も昨年度の記事と同様、子ども向けの啓発記事が良いと思う。前回の記事は、非常にすんなり内容が入ってきてわかりやすかった。前回の内容をベースとして、先に進んだ内容か、横に広げた内容か、とするのはどうか。男女共同参画に対して、個人的に啓発対象は子ども世代が望ましいと考えており、その世代が大人になるころに、男女共同参画社会が実現していくよう長い目で働きかけていくことが重要ではないか。

事務局：もし子どもを啓発対象とすると、記事の内容としては子育て世代目線か、子ども目線か。

委員：子どもが読みやすい記事が良いが、記事の出し方としては『おとなも、こどもも』として出した方が良い。

委員：前回の情報紙を読んで、とてもわかりやすく、これまでより大きく変わってきたな、と感じた。やはり子どもと一緒に大人も成長しなくてはならない。子育てに悩んでいる親、それを理解する祖父母世代に対し、子どもを巻き込んだ内容の記事を投げかけることで、新たな気づきや救いにつながれば良い。

子育て世代や女性への支援、男性の家事育児参画にもつながるため、子ども向けの記事はぜひ残していただきたい。

委員：子どもや子育てをする人が少なくなっているが、そもそも独身者も含めて、男女共同参画の考え方が広まらないといけない。全体を対象にするのはどうか。

委員：私は女性の起業支援活動を行っているが、『趣味を仕事に』としながら起業した時、男性から見て「結局趣味でしょ？」と理解を得られないという声も多く聞く。女性の起業は、結婚や育児などのライフステージごとに変化が多いものだが、家庭内での理解や協力を得られずに困る方も多いと考えると、そういったテーマも取り上げてはどうか。

一方で、前回の情報紙の内容はとてもわかりやすくて良かった。小学生の子どもと一緒に読んだが、「ここは我が家ではこうだね」とか「こうなったらいいんじゃない？」などと話し合うきっかけとなった。

10～20代の若年層に届く記事も重要だが、インターネットが普及している今、広報紙とい

う紙媒体に目を通す層は限られてくる。広報紙にちゃんと目を通す可能性が高い子育て世代をターゲットに、親子で何かする時間を作るような記事にするのは良い案だと考える。

委員：名取市の取り組みは記事に入れた方が良い。市の取り組みは見えづらい部分なので、自身が住んでいる地域でもしっかり取り組みが進んでいることを市民にお知らせしていくべき。

委員：昨年度作成した情報紙はとても良い出来だし、今見ても良いと感じる。

私はよく新聞を読むが、今年の新聞記事で見かけたのが“カスハラ（カスタマー・ハラスメント）”に関する記事で、大変興味深かった。会社に長年勤める中で、労働組合関連の仕事もしたことがあるが、ハラスメントについては、被害を受ける方に男女差があるのではないか。仕事における女性軽視は根深く、パワハラ、セクハラ、カスハラとも、女性の方が被害に遭いやすい部分があると思う。その部分を議論しながら進めるのも良い。

一方で、前回のテーマ（子どもに対する啓発）をより深めることにも賛成である。

事務局：さまざまなテーマがあるが、委員の任期は2年間であるため、次年度のテーマも並行して話し合っていたくことも可能である。

委員長：それでは、この場で意見が出たものから「B、C、D」の3つのテーマとしてよろしいか。ほかに質疑やご意見がなければ、決定とする。

B 名取の取り組み

C 女性活躍支援・男性の家庭参画・ワークライフバランス（うち、女性活躍支援）

D 子ども向け啓発記事

（委員からの異議等なし）

③男女共同参画啓発懸垂幕案について

事務局：資料 A 案（令和3年度 男女共同推進委員会で作成した横断幕のデザインをベースに作成）と B 案（男女共同参画のぼり旗のデザインをベースに作成）のいずれかから選定をお願いしたい。デザインの良い部分を掛け合わせて第3の案として提案していただいても構わない。

委員：A案とB案の費用はどの程度異なるのか。

事務局：どちらも同様である。

委員：B案について、黄色っぽい記事に茶色の文字だと、柔らかい印象だが見えづらさが気になる。文字だけ濃い色にするのはどうか。全体のデザインとしては、屋外に掲示することを考えるとB案の方が目立つと思う。

委員：黒い文字でデザインが合わない場合は、こげ茶などより黒に近い茶色にすると、柔らかいイメージのまま見やすくできるのではないか。

委員長：ほかになれば、折衷案として“文字の色を濃く変更して、B案のデザイン”としてよろしいか。

（委員からの異議なし）

（2）その他

・事務局から、下記4点について、委員へ情報提供を行った。委員からの質疑等なし。

1. 女性活躍支援事業（7月4日開催のセミナーについて）
2. 令和6年度マザーズハローワーク青葉との連携事業（出張相談 in 名取）
3. 男女共同参画週間に伴う横断幕掲出（掲出実績報告）
4. 次回の会議の開催予定について

9 閉会